

令和4年度 第1回 大泉地域委員会 会議録

- 1 開催日時 令和4年4月27日(水)
午後2時00分開会～午後3時10分閉会
- 2 開催場所 大泉総合会館 会議室4
- 3 出席者 委員12名 支所職員・事務局2名 計14名
- 4 出席委員 清水重仁、小池政満、藤森一利、浅川渴雄、小針長男、進藤実妃、藤森和子、浅川修一、浅川倫世、小宮山修、齊藤けさ子、山下和人
- 5 欠席委員 守屋勤、浅川治喜、小宮山幸枝
- 6 出席職員 大泉総合支所長：三井博彦
地域市民課長：進藤聡
- 7 会議録署名委員 清水重仁、小池政満
- 8 議 題 (1) 地域委員会の職務について
(2) 令和3年度大泉地域委員会予算使途事業執行状況について
(3) 令和4年度大泉地域委員会予算使途事業について
(4) その他
- 9 公開・非公開の別 公開
- 10 傍聴人数 0人

委員会内容

1 開 会 (事務局)

本日はお忙しい中、御出席いただきありがとうございます。

只今から令和4年度第1回北杜市大泉地域委員会を開催いたします。

私この4月より大泉総合支所地域市民課への配属となりました進藤聡と申します。この委員会の事務局を務めますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

なお、本日浅川治喜委員より欠席の連絡を受けておりますので御報告いたします。

2 会長あいさつ

(浅川会長あいさつ)

3 委嘱状交付

4 自己紹介（地域委員・職員）

（事務局）年度初め第1回目の委員会でもあり、各団体を代表する委員の皆さまの中には、改選により新しく委員となられた方もいらっしゃいますので、職員も含め自己紹介をお願いしたいと思います。

（地域委員の自己紹介）

（職員の自己紹介）

5 議事（北杜市地域委員会設置条例第8条第2項の規定に基づき浅川会長が議長）

（議長）それでは議事を進行させていただきます。有意義な委員会となるよう御協力をお願いいたします。なお、この会議は北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱第3条の公開の原則に基づいて開催されます。

本日の議事内容には非公開情報は含まれておりませんので、公開といたしますがよろしいでしょうか。

（委員）異議なし。

（議長）異議がございませんので、本日の会議は公開といたします。

次に会議録署名委員の指名について事務局より提案をお願いします。

（事務局）会議録署名委員は、名簿順に2名ずつでお願いしております。今回は第1回目の委員会ということで、1番の清水重仁委員、3番の小池政満委員にお願いしたいと思います。

（議長）北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱第9条第3項第3号の規定に基づき、清水委員、小池委員の2名を会議録署名委員に指名してよろしいでしょうか。

（委員）異議なし。

（議長）議事を進めます。（1）地域委員会の職務について事務局より説明をお願いします。

（事務局）（1）「地域委員会の職務について」

配布資料に基づき、設置目的、任期、活動内容等の地域委員会の職務について説明。

（議長）事務局からの説明が終わりました。何か御質問等ございますか。

（委員）質問なし。

（議長）続いて（2）令和3年度大泉地域委員会予算使途事業執行状況について事務局から説明をお願いします。

（事務局）配布資料により、令和3年度大泉地域委員会予算使途事業執行状況等について説明。

(議 長) 事務局からの説明が終わりました。何か御質問等ありますか。

(委 員) 質問なし。

(議 長) では次に(3)令和4年度大泉地域委員会予算使途事業について事務局から説明をお願いします。

(事務局) 配布資料により、令和4年度大泉地域委員会予算使途事業について説明。

(議 長) 事務局からの説明が終わりました。何か御質問等ありますか。

(委 員) 質問なし。

(議 長) それでは(4)その他について事務局から説明をお願いします。

(事務局) 地域委員の報酬について報酬資料等提出をお願いする。

(支所長) 本年度の事業計画の中で大泉ふるさと夏祭りとして420万円が予算化されています。本日本庁での部長会議の終了後、各町のイベントの開催方針について話す時間がもたれ、担当部局より県が示すイベント開催時の新型コロナウイルス感染症対策について説明がありました。説明の中では飲食の際は対面ではなく、同一方向を向いて飲食することなど、消毒は勿論いくつかのガイドラインがあることから、実際のイベントでそのあたり注意して開催していくことが出来るか難しい点もあります。本日の資料の最終頁に今日現在の各町のイベントの開催計画を付けさせていただいております。この中には現在の新型コロナウイルス感染状況に加え、これまでの開催場所が人工芝で整備されたことに伴い、使用に規制が設けられたことから開催は難しいといった方針を出したところや、開催の規模を縮小し感染状況を見ながら開催時期を遅らせて予定しているところもございます。大泉の夏祭りも昨年は一昨年に続き新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2年続けて中止と言う判断をいただいております。新型コロナウイルスの終息が見通せない状況ではありますが、開催するのであれば、実行委員会を立上げるなど諸準備に移らなくてはなりませんので、本日この委員会の中で開催の可否の御判断をいただきたいと思っております。

(議 長) 今年の大泉ふるさと夏祭りについてどうするかということですが、他の7町の状況については資料のとおりですが、皆さんこれまで10回程やっているのでは様子は分かっていると思いますが、おじいさんおばあさんのいる実家へ県外から息子さんや娘さん、お孫さんが帰ってきて大勢の人達がお祭りに来ます。あとは食事の方もお蕎麦を1,000食提供しています。そういう形の中で今年開催できるか、やるとすると規模を縮小してやるとか、あとはこれまでと同じとか中止するとか何か御意見がありますか。

(支所長) すいませんが補足になります。市として開催の可否についての判断は地域の地域委員会の判断に委ねるとのことですのでよろしく願いいたします。

(委員) 今までの話を聴いていると従来と同じような開催は無理ではないでしょうか。

(議長) やるとしてもだいぶ規模を縮小しての開催となります。まずお蕎麦を出すのは難しいと思います。

(委員) お祭りの一番の楽しみというのは、やはり食べることですよね。なんかやらないとなると寂しい気がします。

(議長) そうですねやらないとなると3年連続となってしまいます。あと例年一般の出店者の募集も掛けていますがその中でも食べ物はやめるとか、あと子供たちに大人気のマスのつかみ取りなんかは子供たちにマスクをしてつかみ取りをといてもなかなか難しいところもあると思います。じゃあそれもやめるかということ寂しいものがありますが、その辺がどうなのかという話で、一番のメインとなる部分をやめていってお祭りを開催してどうなのかという話です。もう一つはこの前の地域委員会連絡協議会で8つの町が集まった中で、市長が「出来るだけ手作り感を持った」お祭りをという事をお願いされています。大泉では約400万円の予算の内、テントの設営から全部約300万円をイベント会社へ委託して設置から撤去までを全部お願いしています。そのお金が一番大きいです。そういうところを何となく手作り感を持ってやってくれと市長はなんとなく要望として言われたんですが、ただ手作り感を持ってやるといってもどうやってやるのか、各町の地域委員会の会長副会長の皆さんも悩んでいましたけどね。だからそういうことでやるとなると一番楽しみなところを全部やめてしまって、ただやめるのは3年連続で寂しいけど、ただ問題は去年より今の状況としては感染者の数は今の方が多はずだと思います。あと3か月ちょっと後になったときにどうかって話はあると思いますが、今の状態もオミクロンが出てから減っていない状況で、私も診療所へ勤務していますので先生方にお聞きするとワクチンを打っている方で重症化する人はほとんどないようです。ただ、今子供さん達がまだ打ってない中で感染を心配して中止となったら何をやっているかわからないお祭りになってしまう可能性もあります。そこで今年はどうしようかなということですよ。

(委員) すいません。県の方針ではパーテーションを用いて同じ方向を向いて食べるというパターンですよ。それはたぶんしばらく続くと思うんですよ。それでお蕎麦を提供するのはかなり無理ですよ。個人がお店で食べるということではなく、こういった場所でその決まりで実施するのはかなり厳しいと思います。

(議長) そうですね。食べるところには全てパーテーションを付けて設定しなくてはいけないので、それはまず無理だと思うんですよ。お金をたくさん賭ければ設定してもらえるとありますが、そこまでお金をかける必要はないと思うんですよ。まあ、確かに夏祭りがないと寂しいねといった意見は聞いているんですよ。毎年楽しみにしていたんでね。

(委員) すいません。基本的なことを確認させていただきたいのですが、この夏祭

りの会場は今までどこで行っていたのでしょうか。

(議 長) 小学校のグラウンドです。小学校のグラウンド兼町の総合グラウンドになっていますのでそこで行っています。

(委 員) あと開催時間は何時からでしょう。

(議 長) イベントの方は夕方からで、お昼頃に皆さん集合して準備をしてから終わるのが8時頃に花火を上げて終わりです。

(委 員) 集合は確か3時頃だったような気がします。

(議 長) 今の状況でやっても面白みの全くないお祭りになってしまう、規模を縮小してそこまで無理をしてやる必要があるかどうかという話だと思えます。

(委 員) ちょっといいですか。例えば比較論の中で北杜市のワクチン接種率がどのくらいなのかという事がひとつ、現状の患者数、罹患者数がひとつ、先程テントの設営費用についてのお話がありましたが、正直そんなに掛かっているのかとびっくりしたんですけれども、普通はテントを借りるだけで設置はこっち側でやるとするとそんなに掛かるわけないですよ。300万も掛かってしまうのは正直ちょっといかなものかと思ひまして。例えばみんなで作るのであれば一つのテントの設営にも時間が掛からないし、各区から何人かずつ協力員的な人を出してもらうなど見直してはいかがでしょうか。

(議 長) 動員を掛けるにしてもどの程度の動員かということもありますし。

(委 員) テントと言ってもテントだけではないですよ。机や椅子とかステージの設営とかそういったものが全部込みになっていますよね。

(議 長) 司会やタレントの費用を含めた費用になってるんですよ。

(委 員) それは一つのイベント会社が全部やるんですか。

(議 長) はい、全部受けています。全部諸々含め300万円ということですよ。

(事務局) テント等の設営から撤去、また花火代まで含めた費用となっております。また、先日イベント会社から問い合わせがありまして実際のところコロナ禍の中では今までと同様な形のイベントは難しい。実際にどのような形で行うのが良いか模索しているところらしいのですが、模索するのにも実際にイベント数が減っているのではなかなか方法が見つからないといった心配をしていました。

(委 員) 先程の金額には花火代も入っているのですね。花火は高いですよ。

(議 長) そうです。花火代が毎年100万円程です。小さい花火なので安く抑えて見た人が楽しめればいいと20分程度で打ち上げているので、値段的にはお手頃かな思っているんですけど。

(委 員) では逆に他の事を縮小して、花火を莫大にするとか。

(議 長) 各町の予算を全部集めれば大きな花火という話という事も出ています。あとお祭りの予算の話をしますと、大泉の予算が一番少ないです。この地域委員会予算のうち三分の一ほどですが、多いところだと半分以上をお祭りに使っているところもあります。ですから予算の用途状況は大泉はちょっといいと私たちは思っています。一番多いのはホースショーかな。

地域委員会の予算が600万か700万掛けてあとは協賛を含め全体で一
千何百万掛かってる。そういう点でいくと大泉は三分の一くらいのお祭り
でちょうどいいかなと思っているんですけどね。花火だけだとどうなるの
か。

(委員) 他の地域を見ていった時に地域の特色ですね、明野だと大根祭りとか小淵
沢だとホースショーとかやっぱりここだとこれだよなというのがあるんで
すけれども、大泉はどうなのかなと思うところがありますよね。

(議長) それでいうと特色は蕎麦ですかね。蕎麦はお祭りで1,000食出してま
すから。

(委員) そうすると飲食が絡んできますよね。

(議長) 飲食はちょっと無理だと思いますよね。今までの形であの場でそのまま渡
して自由に何処でも食べていいって話だとちょっと開催出来ないと思うの
で。

(委員) すいません。水を差すつもりは全然無いんですけど。食改推さんで蕎麦
を出してくれてますよね。あのスタッフのやるところを見ていて、全部を
手作りでやったら、準備から片付けまでってなると何のためのお祭りかな
という気がします。

(議長) 皆さん知ってのとおり、今のお祭りこの地域委員会と各種団体の代表者と
の実行委員会という形でやってますけど、一番の人員的な主力は市役所の
職員です。大泉町出身の職員には全員動員がかかって、その人たちは毎年
やってますから手慣れてますよね。極端な話だと僕らはお祭りの時だけ出
てくるだけなのでちょっと様子が分からないんでね。特に今年変わった委
員の方々は何をどうするのって事になりますし、市役所の職員が毎年やっ
てますから手慣れて色々準備ができるんですけども、その人たちが居
なくなったらとても出来ない状況になると思います。

私の個人的な意見になりますが、感染者数が減ったとしても200人前後
いる状況で、新聞を見ると北杜市も人数が出てますよね、あれでいくと一
日数人と少ないですけど、週間でいくと50人とか60人とか出ている
状況で、細かい個人データは出さないですよ。大泉の何処でとかまったく
分からないんですよ。ですからこういう形でいくと今の状況で無理し
てやる必要があるかどうかあと、あくまでも個人的な意見としてですけ
ど。あとはここで判断をしないと、毎年出店業者に5月頃には募集を掛け
て6月には出店業者を決めなければいけないんですよ。

(委員) この参加する人というのは地元の人とは勿論ですが、帰省した人たちや観光
客が同等かそれ以上にもなりますよね。ここだけの感染状況による判断で
はどうかと。

(委員) 今4回目の接種の話が出てますよね。それが7月、8月には打ち始めの時
期になりそうだと、これは抗体が減るって前提ですよ。あれは。そうす
るとまた流行する可能性もあるので、それを考えるとちょうど注射を打ち始
める時期にもなるのでどうかと思います。

- (議 長) そうですね。そしてもう一つ分からないことが今からGWを迎えますよね、人が動いてまたその後第7波が出てくる可能性も分からないですからね。
- (委 員) そうですね。分からないところでもあります、一般的に言うとなんて厳しいは厳しいですよ。
- (議 長) ええ、厳しいと思います。
- (委 員) 今年はもう一年様子を見た方がいいと思いますけど。このところ山梨の感染者もね。
- (議 長) そう落ち着いているけど、急激に減るってわけでもないですよ。去年の暮れのように一人二人ゼロですって状況が続いていけばいいですけどね。やっぱり200人前後は出てますからね。
- (委 員) いざやるとなると感染防止対策を徹底してやらなければならないし大変ですよ。
- (議 長) 反対にそういう事をする、気にする人は来ないかもしれなしですよ逆に。
- (委 員) ひとつは今年はよっぽどの事がないかぎり難しいかと、個人的には思いますよね。ただ、この地域委員会ってものがずっと継続されていくのであれば、事務局さんをお願いして継続課題として予算の三分の一を使うような大きなイベントになるわけですから、公募も含めて少し案を練っていくとか考えていくとか、別に支所の方で考えろというのではなく、公募も含めた考えを集めてはどうかなと、いろんところで各委員さんがいる中ではお声を掛けていただいて、何かやりたいという人がいれば大泉としてやれそんなことを時間が掛かってもいいから、みんなで作っていく事が大事だと思うので、みんなでこうやるんだよというのが出てくれば、コミュニティ不足、この大泉にとって、だって半分もいかないでしょ自治会への加入率が、こんな自治体少ないと思うので、やっぱりもっと盛り上げていかないとこの先大泉どうなってしまうのか少し寂しいので、御苦労ただかなきゃいけない方もたぶん出てくるかと思いますが、継続課題として意識したり声を掛けていただければちょっと何とかなるんじゃないかなという気がします。
- (議 長) そのあたりやはり大泉には新住民の方が多いという事がありますよね。出生者数が増えていない中で、北杜市の中で人口が減ってないのは大泉だけなんです。ということは移住されている人が多いということ。それで今自治会への加入率が40何パーセントと入っていない人の方が多いんです。その辺がちょっと問題ではあるんですけどもね。ただ今は自治会へ入らなくても生活できるようになって来ていますからね。昔みたいに隣近所で協力しないと生活出来ないってことがないので。これまでの意見で今年は中止ということでもよろしいでしょうか。
- (委 員) ちょっといいですか。中止はそれでいいんですけども、3年続けてってことは寂しいじゃないですかね。そして山の日も忘れそうになりそう。大泉のお祭りは山の日に行いましょうってことで定着しつつあるじゃない

ですかね。先程花火の話もありましたけれども、山の日に大泉としてお祭りはしないけれども、花火を上げて皆で夏の思い出を作るっていう、ここまで見に来なくてもこの辺だと家からも見えますよね。何かそういうことでもして山の日は大泉のお祭りだよということをしたらどうでしょう。

(委員) ただ花火を上げるとすると事前に言わなくてはいけない。例えばいつ何時から上げますというとならず人は来ちゃいますよ。西井出組もそうなんですけどお祭りで花火を上げないようにしているんですよ。人が来たら困るということで。ただ皆さんに見てもらうには周知が必要ですしそうすると必ず人は集まりますよ。そのあたりが難しいところだと思います。

(委員) 面白いやり方で山の日になにかが起こる大泉とか、具体的に花火というとは殆どの方が見に来ると思います。僕が感じたのは各町でイベントの特徴がある地域のイベントをやってますけど、例えば大泉はお蕎麦を主体としたイベントっていうのは飲食が中心になるので難しい。3年連続で何もしていない地域委員会だつて言われちゃうと寂しいので、やらないんだけど次の事を考えていますっていう地域委員会で例えばふるさと祭りの内容がお蕎麦が大前提、花火を上げてお笑い芸人を呼んでというのはあるかもしれませんが、白紙でもう一度ゼロベースで大泉のふるさと祭りの在り方っていうのは持ち帰りで宿題として、大掛かりなフリーマーケットや物々交換のバーターマーケットとかそういったものと芸能人とを合わせたそういうこととか、いろんなイベントのやり方があると思うんです。だからその辺は大泉のふるさと祭りが3年連続ゼロ、4年目も5年目も分からない状況の中で、何か私たちができる地域に対する貢献っていうのを我々が皆で意見を出して話し合っ、そこの中に市長の言う手作り感が盛り込まれれば良いと思いますけど。

(委員) 地域委員会の予算という事で私たちもいろんな予算をいただいているんで、お祭りの関係は確か400万円位なんですけれども、それ以外の活動でも私たちは予算をいただいているんで、そちらを充実してもらえれば逆にありがたいです。

(委員) それは大賛成です。先程斬新な企画とかそういったもので予算がおよそ2万円となっていますが、ふるさと祭りの予算を半分にした残った予算を振り分けるとかっていうのがあればね。

(委員) それはまた考えていただけるということで。

(委員) 正直なところ山の日だったというのは私知りませんでした。

(議長) 山の日に決まったのは4、5年前です。それまでは日にちの指定はしていませんでした。山の日が祝日になったことで大泉としてはその日にしています。

(委員) 私が思ったのは、これだけ山があるのだからクロスカントリーとかロッククライミングのレースをするとか、丸太を切る競争をするとか山と木に関することがいいかなとちょっと今思ったんですよ。

(議長) いい案だとは思いますが、地域委員会としては荷が重すぎるかなと。あと

- 各地域、各地区でお祭りをやってください。それに補助金を出すのもいいと言われているので。各区単位くらいでお祭りをやったらいいと思います。
- (委員) 予算をもし返すのであれば地域ごとに厚く予算いただいて沢山やった方がありがたいかな。
- (議長) ただし飲食には使えないというところもあるので難しいところもあるんですよ。
- (議長) それでは今回は中止という事で、いろいろ意見がでましたがこれからの検討課題としていきたいと思います。みなさんにも心づもりをしていただいて考えていただいて何かいい方法があればと思います。
- その他何かありませんか。無ければこれで議長の任を解かせていただきます。御協力ありがとうございました。

－ 議事終了－

- (支所長) 事務連絡として、本年度執行予定の選挙における期日前投票の立会人の協力をお願いします。
- (事務局) 長時間にわたり慎重審議いただきありがとうございました。以上で令和4年度第1回大泉地域委員会を終了します。ありがとうございました。

午後3時10分 閉会

令和4年 月 日

議事録署名人

議事録署名人
